

郷土愛通信

平成29年5月16日
No.1
郷土愛プロジェクト

【郷土愛通信発行にあたって】

私たちは、上伊那という「ふるさと」を舞台にして、地域・学校・家庭・産業界・行政等が一つになって、よりよい次世代育成と地域づくりをしていきたいと願っています。

「ふるさと伊那谷（上伊那）」について、世代を超え、地域や仕事を越えて、多面的多角的に見つめていく中で、改めてこの地域を知り、新しい発見をし、生きることに喜びを感じながら、より『自分の存在の確かさが見つけられる場所』となっていけたらと思っています。

郷土愛プロジェクトで実施しているさまざまな事業の進捗状況を、産・学・官のみなさまにお伝えすることを通して、それぞれが『自分の存在の確かさが見つけられる場所』として伊那谷（上伊那）を感じるお手伝いができればと思っています。

郷土愛PJ総会・全体会 報告

第1回郷土愛プロジェクト総会・全体会が、4月18日（火）に、宮田村村民会館で行われました。向山会長から、少年時代の恩師である宮田村の民俗学者（郷土史家）故向山雅重先生についてお話がありました。向山先生の残した郷土に関するフィールドノートは、その緻密さが有名です。ふるさと伊那谷を大事にされる会長の心根は、向山先生との出会いにあるのではないかと感じました。また向山雅重先生自身も、幼少期から伊那谷の歴史や文化、人々の営みに興味があり、それを生涯の仕事にしたと聞いています。小さい時から、ふるさと伊那谷をからだにためこむことが、将来の伊那谷を創ることにつながると感じました。

平澤教育長からは、「宮田村の最大の課題は、人口減である。村民挙げて、この課題に取り組み、郷土愛を育てていきたい。このことは、大きく郷土愛プロジェクトにつながる」とお話いただきました。宮田村の教育大綱には、『郷育～郷土（ふるさと）に生き 郷土を愛し 郷土を創る人財の育成～』と示され、まさに郷土愛プロジェクトのめざす姿です。この大綱を、幼児教育、学校教育、生涯教育の三分野で、具体的実践がなされています。すでに小中学校では大綱をふまえ、「自らを切り開く・自己をみる」を学校教育目標にすえ、一村一校を強みに、小中学校がめざす子ども像の一つにした教育実践がなされています。

各事業のねらい・事業内容の説明、決算・予算について、全提出議案は承認されました



向山雅重先生の足跡は、民俗資料館に行くといいよ！宮田村村民会館の中にあります。「大わらじ」がお出迎え！



おっと～ワインも最高！

宮田教育については5/30キャリア教育産学官交流会で、宮田中キャリア教育の実践発表があります。中学生が「宮田バーガー」を考案したよ！



『郷土愛PJの今!』ということで、郷土愛プロジェクト事業の進捗状況をリサーチしていきます。ご期待ください!?



キャリアフェスIN春富中 2017. 7. 4



昨年度、伊那中学校で開催した『キャリアフェス』は、本年度は駒ヶ根東中学校で開催されます。

伊那市では、市内6中学校開催をめざし、本年度は、春富中学校で実施することになりました。郷土愛PJとしてお手伝いしていきたいと思えます。4月17日に、春富中にて、中学生の実行委員の皆さん、地域から選出された実行委員の皆さんと、どんなキャリアフェスにしていくのかを話し合いました。

生徒さんから「自分がスポーツをやっているの、理学療法士さんに興味があります」「春近神社では舞姫をやります。宮司さんが中学校の保護者なので来てもらったらどうですか」「フラワーアレンジメントをやりたいです」など次々と、自分の生活や将来の夢と結びつけた発言が出されました。平澤校長先生から、「すべてのものやことには、その裏にある人々の思いや願いをくみとりたい。キャリアフェスのテーマである『伊那谷のたからものを発見』は、まさにつくった人の思いや気持ちに触れ、人と人をつなぎ、心と心がつながることが一番の願い。生徒も職員も、心がつながる良さを宝物にしていきましょう。」とのお話をいただきました。校長先生のお話を聴く生徒の皆さんの体の向き、姿勢、眼・・・がとても美しく、生徒さん方の願いと校長先生の願いが、まさにつながり、一つになった雰囲気を感じました。こんな素敵な生徒さん方のお役に立てるキャリアフェスを創り上げていきたいと改めて強く感じました。多くの方のご協力をお願いします。



もうすぐキャリア教育産学官交流会 ~リハーサルのようにから~



当日は、さまざまな観点から『わがふるさと伊那谷』を見つめ、語り合い、明日に向かって、私にできるアクションを決め出しましょう!

- * IHI回転機械：辰野から世界へ！社員教育は、一人ひとりをその道のプロにすること。やり続ける研修と社員の資質向上。
- * ドリームバーコミュニケーションズ：夢新聞は全国6000人の子どもたちが体験。そこから見えてきたことは・・・。
- * 辰野町商工会：空店舗を何とかしよう動き出す辰高生。生徒の思いの現は・・・、地域の方々との絆は・・・。
- * 宮田中学校：『郷育』の実現に向かう、宮田中学校。個々の可能性に向かって、3年間の体系化された『郷育』の具体は・・・。
- * 箕輪進修高校：インターンシップを経験した生徒さんが、自分の言葉で、学んだことや自分の夢を語ります。高校生の新鮮な思いは・・・。
- * 辰野教委・川島小：地域総出で、地域の御柱伝統をからだで学ぶ子どもたち。地域の宝としての学校は、何を受け止めたのか。
- * 辰野町産業振興課+タグポート：中小企業への新しい風、若い力で企業を活性化。まずは「任せてみる」ことから・・・。
- * 辰野中PTA：大事にしていることば『貫練』ほめて伸ばす。ほめることは、人を伸ばすこと！そして・・・。